

国土交通省 東北地方整備局 能代河川国道事務所
 ホームページアドレス <http://www.thr.mlit.go.jp/noshiro/>



おおだてこくどう



発行者: 大館国道出張所 住所: 〒017-0864 秋田県大館市根下戸新町1-68 電話番号: TEL 0186-49-0321/FAX 0186-43-5819
 当出張所では、国道7号(北秋田市今泉鳥越～大館市長走)と秋田自動車道(大館能代空港IC～小坂北IC)を管理しています。

維持工事のお仕事

～ E7 秋田自動車道編 ～

大館国道出張所で管理している秋田自動車道は、私たちの生活に欠かせない自動車専用道路です。そんな秋田自動車道を安全で快適に走行できるように、現場で日夜危険が伴う作業に従事している人達があります。今号では、そんな維持工事の活躍ぶりを紹介します！

維持工事は、こんな仕事をしています♪

◆ 落下物回収のため緊急出動！

秋田自動車道では、1日2回(午前・午後)のパトロールを行っています。パトロールの時間帯以外で発見された落下物は、緊急出動をして回収しています。また落下物のほか、故障車や事故車対応による緊急出動も。車が速い速度で走る道路での作業はまさに危険が伴います。



◆ 降雨に備え路面排水施設を清掃！

道路脇の「排水ます」や「側溝」にたまった土砂や枯葉などを取り除く清掃作業。路肩規制をして人力で行います。取り除いても取り除いてもたまる堆積物…。排水施設の清掃に終わりはありません。



◆ 道路脇の樹木伐採！

維持工事の仕事は、道路上だけではなく、走行時の視界確保や倒木のおそれがある道路脇の樹木伐採も維持工事の仕事。走行車線に木が倒れないよう、細心の注意を払って伐採しています。



◆ 夜間の舗装補修！



秋田自動車道は自動車専用道路であり、安全に作業することができるよう、交通量の少ない夜間に区間を限定し、全面通行止めにより舗装の補修などを行います。翌朝には車が通行できるよう、夜間の作業は時間との戦いです。

日々「走りやすい道路 きれいな道路」を心掛けて維持管理しております。また、ゴミ拾いも定期的に行っております。片側交互通行や通行止め等、ご迷惑をお掛けする場面も多々ありますがご理解、ご協力のほど宜しくお願い致します。



秋田土建 ちば 現場代理人 千歳



秋田土建 森岡 もりおか 監理技術者

◆ 大館北IC⇄小坂北IC間の夜間全面通行止めのお知らせ

令和2年8月3日(月)から8月7日(金)の午後8時から明朝5時まで秋田自動車道 大館北IC～小坂北IC間の橋梁点検作業及びトンネル内側溝清掃作業を行います。作業中は夜間全面通行止めとなるため、秋田自動車道をご利用の皆様にはご迷惑をおかけしますが、ご理解とご協力をお願い致します。

道の駅「たかのす」を防災拠点とする 災害時相互応援協定を締結

7月15日(水)道の駅「たかのす」において、能代河川国道事務所、北秋田市、鷹巣観光物産開発株式会社、秋田たかのす農業協同組合の4者による道の駅「たかのす」を防災拠点とする災害時相互応援協定締結式が行われました。この協定の目的は、北秋田市の地域防災計画に防災拠点施設として位置づけられている道の駅「たかのす」において、災害発生時または発生のおそれがある場合に、4者が連携、応援、協力をして適切な災害対応を行うことにより、地域住民や道路を利用する皆様の安全を確保することにあります。



秋田たかのす農業協同組合
齊藤 一志組合長

北秋田市
津谷 永光市長

鷹巣観光物産開発(株)
笹木 俊雄社長

国土交通省能代河川国道事務所
高橋 秀典事務所長



今回の協定を締結した4者の声をご紹介します。

北秋田市長 平成5年4月に県内第一号で道の駅「たかのす」が登録された。北秋田市の賑わいの一役を担っているところ。本日の協定により、道路災害が起こった時に防災拠点として密接かつ迅速な災害対応を可能にして地域住民や道路利用者の安全・安心が確保されるものと心強く感じていますし、大きな期待を抱いている。市としても、防災訓練や日頃の緊密な情報交換を行い信頼関係を築いて災害時に必要な力を最大限発揮できるように努めていきたい。

笹木社長(道の駅駅長) 近年、道の駅「たかのす」は、地域の物産・観光等々情報の発信基地として、また安全・安心の防災拠点として位置づけられてきた。関係機関のご指導をいただきながら災害時の応援体制を整えていきたい。

齊藤組合長 いつ、どのような形でどのような災害が起きるか全くわからない、そういう時代になってきた。何かあってからでは遅いので、こうした拠点の指定というのは大変ありがたい。何か力になれるよう備えたい。

高橋事務所長 近年、全国各地で自然災害が頻発、あるいは激甚化ということで言われており、災害の備えが急務となっている。道の駅についても、平成16年度の新潟・中越地震を契機に防災拠点として役割を担うということで注目され、道の駅の防災化の整備が全国的に進められている。道の駅「たかのす」は、平成23年度に整備が完成している。協定を結んだことによって、相互に連携・応援・協力して適切な災害対応を迅速に、そして地域の住民や道路利用者の安全・安心を確保できるものと考えている。いざという時のために、これからも訓練を連携してやっていきたい。



情報プラザの隣に整備された連続72時間稼働できる非常用発電設備・2万リットルをためられる貯水槽

来月のおしらせ

8月は「道路ふれあい月間」です
～ ゆずり合い 心や道に 咲く笑顔 ～